



DRIVE
RECORDER

TZ-D201

品番：V9TZDR100

取扱説明書 本体編

この度は、弊社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。
なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。

本機は、日常の運転をドライブレコーダーで記録し分析することで、安全運転についての改善や、効果的な運転管理を推進し、交通事故の防止および安全運転を促進する目的で製造販売しております。

microSDカードについての取り扱い注意事項

microSDカードの挿入／取り出しの際は、本機からDCプラグを外し、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してから行ってください。

microSDカードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSDカードによる不具合が発生した場合は、オプションのmicroSDカードと交換してください。

microSDカードを新たに購入される場合は、TZmicroSDカードもしくはセルスターオプションのドライブレコーダー専用microSDカードをおすすめします。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。
あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

Copyright © 2020 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.

Cellstarは、セルスター工業株式会社の登録商標です。

microSD™はSDアソシエーションの登録商標です。

microSD Logolは登録商標です。

STARVISおよび  はソニー株式会社の登録商標です。

その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、下記URLよりダウンロードしてください。

https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

はじめに

相互通信対応TZセーフティリーダーとの接続	4
相互通信機能について	4
準備	4
TZセーフティリーダーとの接続	5
TZセーフティリーダーの外部入力設定	6
設定の変更方法	7
再生モード	8
相互通信時のパーキングモードについて	9
相互通信時の常時電源接続方法	9
安全上の注意	10
microSDカードについての取り扱い注意事項	12
使用上の注意	13
録画についての注意事項	13
取り付けについての注意事項	13
microSDメンテナンスフリー機能について	13
パーキングモードについて	13
ナイトクリア Ver.2について	14
DCコードについて	14
アイドリングストップ車での使用について	14
安全運転支援機能（後方）について	14
専用ビューアソフトについて	14
カメラレンズの注意事項	14
事故発生時の注意事項	14
本体/付属品	15
付属品	15
オプション品	16
各部の名称と機能	17
オプションの別体カメラ（GDO-28）	18

取り付けと準備

取り付け方法	19
フロントガラスに本機を設置する場合	19
取り付け位置（正面）	19
フロントガラスへの取り付け位置（側面）	20
フロントガラスへの取り付け	20
マウントベースから本体を取り外す	21
ダッシュボードへの取り付け	21
リアガラスにオプションの別体カメラを設置する場合	22
取り付け位置（正面）	22
取り付け位置（側面）	23
リアガラスへの取り付け	23
セダンなどのリアトレイにオプションの別体カメラを設置する場合	24
取り付け位置（側面）	24
本体とオプションの別体カメラを接続	25
接続方法	25
オプションの別体カメラの設定	25
ヒューズボックスから電源を取る場合	26
ACC線から直接電源を取る場合	26
配線処理	27
microSDカードの挿入および取り出し	28
microSDカードの挿入	28
microSDカードの取り出し	29

基本操作

製品の使用方法	30
電源のON/OFF	30
エラー表示	30
モード切り替え	31
録画方法	32
録画モードについて	32
クイック録画機能（手動）	33
パーキングモードについて	34
パーキングモードの動作	35

各種設定

各種設定の変更	36
共通：設定モードにする	36
音量調整（工場出荷時：2）	36
画像モード設定（工場出荷時：高画質）	37
カメラ設定（工場出荷時：HDRナイトクリア1）	38
別体カメラ設定（工場出荷時：HDRナイトクリア1）	38
別体カメラ表示（工場出荷時：オン）	39
録画モード（工場出荷時：常時+イベント）	39
3Gセンサー感度（工場出荷時：標準）	40
音声録音（工場出荷時：オン）	40
インボース記録（工場出荷時：オン）	41
ボイス（工場出荷時：オン）	41
LED表示（工場出荷時：オン）	42
パーキングモード（工場出荷時：オン 常時+イベント）	42
パーキングモード感度（工場出荷時：標準）	43
日時（工場出荷時：未設定）	44
撮影モード	45
フォーマット	45
本体カメラ正像/鏡像切り替え（工場出荷時：正像）	46
設定一覧	47
設定一覧（つづき）	48
画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧	49
3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧	49
その他の機能	50
安全運転支援機能（別体カメラ）	50
外部モニター表示	52
システムリセットと強制初期化	53
システムリセット	53
強制初期化	53
ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて	54
専用ビューアソフトの動作環境	54

困ったときは

故障かな？と思ったら	55
その他	
製品の仕様	56
microSDカードのデータについて	59
アフターサービス	
アフターサービスについて	60
修理に関して	60
修理受付票	63

相互通信機能について DC12V専用

本機と弊社製相互通信対応TZセーフティレーダーを弊社製TZセーフティレーダー相互通信コードで接続することにより、設定画面やカメラ映像及び再生映像をTZセーフティレーダーの画面に表示させることができ、TZセーフティレーダーのリモコンやタッチパネルから操作できるようになります。また、GPSの位置情報や電源、OBD IIの速度データもTZセーフティレーダーより供給され、操作音もTZセーフティレーダーから出力されます。

* 撮影モードは、相互通信時は使用できません。

* TZセーフティレーダーのGPSから録画データに日時情報が入力されます。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

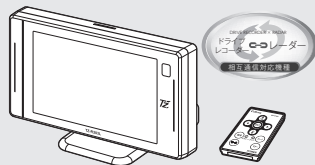
準備

本機能を使用するには、弊社製相互通信対応TZセーフティレーダーと弊社製TZセーフティレーダー相互通信コードが必要です。

- TZセーフティレーダー相互通信コード
- 弊社製相互通信対応TZセーフティレーダー



※TZセーフティレーダー本体のイラストは、モデルにより異なります。



本機と相互通信対応TZセーフティレーダーとの組み合わせによりオプションの接続コードが異なります。詳しくは、弊社ホームページをご覧ください。

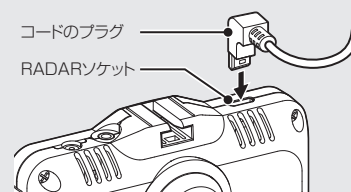
https://www.cellstar.co.jp/products/pdfs/radar_drive/taiou.pdf

注意

- セルスター製ドライブレコーダー専用TZセーフティレーダー相互通信コードです。それ以外の製品に使用することはできません。
- TZセーフティレーダー相互通信コードは12V車専用です。TZセーフティレーダーを24V車に接続した場合、本製品を取り付けないでください。故障の原因となります。
- TZセーフティレーダー相互通信コードを改造し使用すると、TZセーフティレーダーやドライブレコーダーの故障の原因となります。
- TZセーフティレーダー相互通信コードのケーブルは地デジのアンテナ部分（ブースター及びアンテナ線）に接触しないよう、できるだけ離して配線してください。

TZセーフティレーダーとの接続

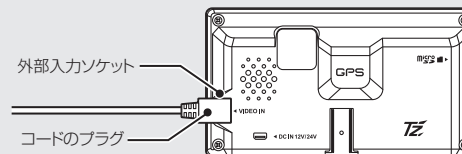
- 1 TZセーフティレーダーのDCコードを外し、TZセーフティレーダー本体の電源をOFFにする。
- 2 TZセーフティレーダー相互通信コードのプラグをドライブレコーダー本体のRADARソケットに差し込む。



プラグの向きとソケットの向きに気を付けて差し込んでください。

相互通信コードのプラグをドライブレコーダーのRADARソケット、TZセーフティレーダーの外部入力ソケットに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。隙間があると接続不良になり、映像出力やリモコン操作などができないことがあります。

- 3 TZセーフティレーダー相互通信コードのプラグをTZセーフティレーダーの外部入力ソケットに差し込む。



※TZセーフティレーダー本体のイラストは、モデルにより異なります。

- 4 TZセーフティレーダーのDCコードを差し込み、TZセーフティレーダー本体の電源をONにする。

* TZセーフティレーダーから電源が供給されるため、起動に時間がかかる場合があります。

TZセーフティレダーの外部入力設定

本機はTZセーフティレダー相互通信コードでTZセーフティレダーと接続した場合、TZセーフティレダーの画面でリモコン操作をおこないます。この時、音量調整、クイック録画以外は、本機のボタンでは操作することはできません。ご注意ください。

* 設定方法は機種によって異なります。

標準		メインメニュー	
待受画面		基本	
警告		安全運転	
ドライブレコーダー連携		OBD II	
画像認識		外部入力(モニター)	
無線LAN		ASSURA + Link	
ENT: 確定 / 戻る: 戻る			

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「外部入力（モニター）」を選び、ENTボタンを押す。

標準		メインメニュー	
外部入力（モニター）			
オン（待受、警告、ドライブレコーダー連携）			
オン（モニター）			
オフ			
ENT: 確定 / 戻る: 戻る			

2 ▲▼ボタンを押して設定内容を選び、ENTボタンを押す。

・オン（待受/警告/ドライブレコーダー連携）（工場出荷時の初期設定）

相互通信機能をオンにします。「カメラ」表示できる待受画面に設定すると、本機のカメラ映像がTZセーフティレダーの画面に表示されます。

・オン（モニター）

相互通信する場合は選択しないでください。

* モニター中は、リモコン操作ができません。終了するには、戻るボタンを押してください。

・オフ

相互通信機能をオフにします。

注意

- ・TZセーフティレダー相互通信コードで本機とTZセーフティレダーを接続し、TZセーフティレダーのリモコンで電源をON/OFFしても、本機の電源は運動せず、供給し続けます。
- ・TZセーフティレダーの電源をリモコンでOFFの状態からONにすると、本機が再起動します。
- ・TZセーフティレダーの電源をリモコンでOFFにすると、本機へのGPS情報の供給がOFFになります。

設定の変更方法

各設定メニューを変更する場合は、以下の手順でおこないます。

専用ビューアソフトで本体の設定も可能です。詳しくは、ダウンロードした専用ビューアソフト付属の説明書をご覧ください。

* 設定中は、録画はできません。

* 設定メニュー画面にて1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切り替わります。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

標準		メインメニュー	
待受画面		基本	
警告		安全運転	
ドライブレコーダー連携		OBD II	
画像認識		外部入力(モニター)	
無線LAN		ASSURA + Link	
ENT: 確定 / 戻る: 戻る			

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「ドライブレコーダー連携」を選び、ENTボタンを押す。

標準		メインメニュー	
モード切替え			
録画モード			
設定モード			
再生モード			
▲▼: 移動 / ENT: 確定			

2 ▲▼ボタンを押して「設定モード」を選び、ENTボタンを押す。

標準		メインメニュー	
カメラ設定			
音量調整			
画像モード設定			
カメラ設定			
録画モード			
▲▼: 移動 / ENT: 確定 / 戻る: 戻る			

3 ▲▼ボタンを押して変更したい設定項目に移動し、ENTボタンを押す。

標準		メインメニュー	
カメラ設定			
ノーマル			
HDR			
ナイトクリア			
HDRナイトクリア1			
▲▼: 移動 / ENT: 確定 / 戻る: 戻る			

4 ▲▼ボタンを押して設定内容を変更し、ENTボタンを押す。

標準		メインメニュー	
カメラ設定			
ノーマル			
HDR			
ナイトクリア			
HDRナイトクリア1			
▲▼: 移動 / ENT: 確定 / 戻る: 戻る			

5 引き続き他の設定を変更する場合は、戻るボタンを押してメインメニューに戻り、▲▼ボタンを押して設定メニューを選ぶ。設定を終了してメインメニュー画面または通常画面に戻る場合は戻るボタンを押します。

再生モード

本機で記録した映像は、TZセーフティレコーダーで再生できます。

* 再生モード中は、録画はできません。



1 ドライブレコーダー連携から、「再生モード」に移動し、**ENTボタン**を押す。



2 **【常時】** または **【イベント】** を選択する。
「再生ファイル」画面に切り替わります。
【戻る】 : 「再生モード」画面に戻る



3 **[[1]]** 本体カメラ、または **[2]** 別体カメラを選択する。
「再生ファイル」画面に切り替わります。



4 **ファイル**を選択する。
TZセーフティレコーダーのディスプレイで再生が開始されます。
再生ファイルが多い場合は、**▲▼**ボタンを押して、ページをスクロールさせます。
再生中に**ENT**ボタン : 「再生ファイル」画面に戻る

- * ファイルは、記録された時間の順に表示されます。
- * 再生ファイルは、常時録画で1分です。(パーキングモード時は1~10分まで変動)
- * ファイル名は実際の製品と異なります。

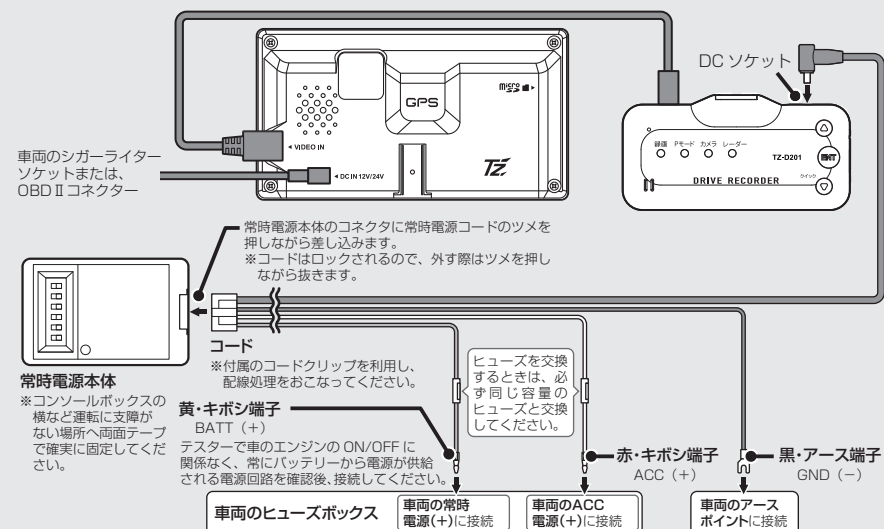
相互通信時のパーキングモードについて

エンジンがOFFになり、TZセーフティレコーダーから電源の供給がなくなると、オプションの常時電源によって車両バッテリーからの電源供給に切り替わります。また、TZセーフティレコーダーからGPS情報の供給もオフになります。

- * パーキングモード中は本機内部の日時設定を参照します。
必ず、日時設定をおこなってください。(P44参照)

相互通信時の常時電源接続方法

TZセーフティレコーダー相互通信コードで本機とTZセーフティレコーダーを接続した状態で、本機のDCソケットにオプションの常時電源を接続します。



パーキングモードの設定方法について (P42-43参照)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。 * 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

- ❗ この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。
- 🚫 この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。
- ⚠️ この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。

危険

- ❗ 本機は必ず定められた電圧（DC12V/24V）でご使用ください。
* 火災や感電、故障の原因となります。
- ❗ 運転中に本機を操作しないでください。
* 交通事故の原因となります。操作する場合は、必ず車を安全な場所に停止させ操作してください。
- 🚫 本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。
* 事故発生時にエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。または作動したエアバッグにより負傷の原因となります。
- 🚫 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
* ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。
- 🚫 水につけたり、水をかけたり、またぬれた手では絶対に操作しないでください。
* 火災や感電、故障の原因となります。

警告

- ❗ 本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態でおこなってください。
* 車両のキーがONの状態で行うと、感電および故障の原因となります。
- 🚫 本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。
* 誤って差し込まれた場合は、すぐ使用を中止し取り除いてください。火災、感電、および故障の原因となります。
- 🚫 本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。
* 火災などの原因となります。
- 🚫 本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。
* 製品の変形および火災、爆発の原因となります。
- 🚫 コードを外すときは、必ずプラグ部分を持って外してください。また破損やキズが付いたコードは使わないでください。
* コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。
- 🚫 本機の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。またゴムとビニールなどを長期間接触させないでください。
* 表面の変質や塗料がはげることがあり、故障および火災の原因となります。
- ⚠️ 本機を長時間動作した場合、レンズ部分が発熱します。直接手で触れないでください。





















警告

- ❗ 本機は、ガラス面またはダッシュボード表面に正しく取り付けてください。
* ガラス面またはダッシュボード表面をきれいに拭いたあと、本機を正しく確実に取り付けてください。正しく取り付けしていない場合、本機がガラス面またはダッシュボード表面から外れ運転中に交通事故が発生する可能性があります。
- ⚠️ 電源コードまたはソケット部のほこりや汚れはよく拭いて取り除いてください。
* 接続不良による感電および火災の原因となります。

注意

- ❗ 本機に強い衝撃を与えないでください。
* 衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
- ❗ 本機の近くに磁性性がある物を置かないでください。
* 製品の誤作動および故障の原因となります。
- ⚠️ GPS機能は初期作動時、起動するまでに時間がかかります。（TZ セーフティリーダーとの相互通信が必要）
* 受信環境、気象状況、および車両の位置などにより、数秒から数分かかる場合があります。
- ⚠️ フロントガラスにメタルコーティングされた車両は GPS 受信障害が発生することがあります。（TZ セーフティリーダーとの相互通信が必要）
- ⚠️ トンネル入出時のように急激に明るさが変わる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合などの条件では録画品質が落ちることがあります。
- ⚠️ 暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドライトやフォグランプをつけてください。
- ⚠️ ガラスの表面や本機のカメラレンズの表面はいつもきれいにしておいてください。
* ほこりや異物による乱反射や屈折現象の発生で、きれいな映像を記録することができない可能性があります。
- ⚠️ 本機は、推奨取付位置に設置してください。
* 推奨位置でない場所に設置されると記録映像がよれることがあります。
* 車両に応じて、よい録画ができる位置（推奨取付位置）に装着してください。
- ⚠️ LED方式の信号機では記録映像がちらつく（フリッカー）ことがあります。
- 🚫 本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。
* 故障の原因となり保証を受けることができません。
- 🚫 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- 🚫 気温の低いところから高いところへ本機を移した場合、本機内に結露が生じることがあります。
* 結露したまま使用すると故障や発熱の原因となります。使用しないでください。

microSDカードについての取り扱い注意事項

-  microSD カードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。注意事項を守らずに発生するデータの損失および破損に関して弊社は一切の責任を負いません。
-  付属の microSD カードをフォーマットすると記録ファイルは、全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
-  microSD カードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
-  市販の microSD カードを使用した場合による、本機の動作異常に関して、弊社は一切の責任を負いません。
-  microSD カードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。
-  microSD カードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSD カードによる不具合が発生した場合は、新しい指定の microSD カードと交換してください。
-  microSD カードを取り出す際は、必ず本体の電源が切れたことを確認してから取り外してください。
* 本体の電源が入っている状態でmicroSDカードを取り出すと、データ損失などの原因となります。
-  一般的に microSD カードには、寿命があります。（各メーカーにより異なります）
* microSDカードを長期間使用している、保証期間が切れているなどの原因でデータに異常が発生した場合、新しい指定の microSDカードと交換してください。
-  microSD カードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。
* ケースに入れずに保管または持ち歩くこと、静電気および外部環境の原因により内部のデータが損失されることがあります。
-  パソコンなどで microSD カード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
-  microSD カードに本製品で記録されたデータ以外を格納しないでください。
* 正しく動作しない場合があります。
-  指定の microSD カード以外は使用しないでください。
* 指定以外の microSD カードを使用すると、正常に動作しない場合があります。
-  microSD カードスロットに異物を入れないでください。
* カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。
-  油がついた手や濡れた手で microSD カードスロットを触らないでください。
* microSDカードの損傷、または故障などの原因となります。
-  データのバックアップ、フォーマットおよび動作中には、絶対に microSD カードを取り出さないでください。
* microSDカードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
-  microSD カードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。
* microSDカードが破損するおそれがあります。
-  microSD カードを落下させたり、衝撃を与えないでください。
* microSDカードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。
-  microSD カードには向きがあります。挿入するときは向きを確認して、確実に最後まで差し込んでください。
* microSDカードが正しく挿入されていないと誤動作の原因となります。
-  市販の microSD カードによっては認識しにくいものや、挿入、取り出しにくいものがあります。
-  microSD カードを別に購入する場合は、必ず使用可能か確認したうえでご購入ください。
* 8GB ~ 32GB（クラス10/SDHC 規格準拠、NANDタイプは「MLC」を推奨）
* 64GB（クラス10/SDXC 規格準拠、UHSスピードクラス：UHS-1以上、NANDタイプは「MLC」を推奨）
* 必ず本体にてフォーマットをおこなってください。

使用上の注意

録画についての注意事項

- 本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- 本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- LED方式の信号機では記録映像が点滅やチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 走行中に本機を操作したり、LEDランプを注視しないでください。クイック録画／撮影機能をおこなう場合、周囲の安全を確認したうえで操作してください。
- 夜間の録画した映像にノイズが入っているように見えたり、夜間の映像が白っぽく録画されることがありますが、正常動作です。
- 環境など様々な要因により、正しく録画されない場合があります。
- 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。
- 電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

取り付けについての注意事項

- 本機は、本書（P19参照）にしたがって、正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また交通事故やケガの原因となります。
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- 本機は防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- 本機を取り付ける前に、必ずガラス面またはダッシュボードとマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れなどをしっかり拭き取り、本機を確実に取り付けてください。

microSDメンテナンスフリー機能について

- 設定した録画画質によって microSDカードにセルスター独自のファイルシステムが適応されます。このファイルシステムでは、microSDカードに記録する際に発生してしまうファイルの断片化を無くし、録画データのエラー発生率を低減することができ、これにより定期的なフォーマットが不要となります。
- * 画像モード設定の変更やmicroSDカードの状態によっては、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- * 付属のmicroSDカードは、工場出荷時の画像モード設定でファイルシステムが適応されています。
- * 新規購入したmicroSDカードは使用前に必ずフォーマットが必要となります。
- * パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

パーキングモードについて

- パーキングモードは、必ずオプションの常時電源コードを使用してください。直結線用DCコードなどを接続し、直接電源を供給できる状態では、パーキングモードを設定できません。
- パーキングモードによる車のバッテリー上がりに関して弊社は一切の責任を負いません。
- 暗い場所など録画できない場合があります。
- ハイブリッド（HV）車は、常時電源の電圧監視を12Vに設定することをおすすめします。

ナイトクリア Ver.2について

- STARVIS™ IMX307搭載。STARVIS (スタービス) は、1μm2 あたり、2000mV以上(カラー品、706cd/m2光源撮像時、F5.6、1s蓄積換算)の感度を有し、可視光領域に加え近赤外領域までの高画質を実現した、監視カメラ用途CMOSイメージセンサ用裏面照射型画素技術です。
- 夜間、トンネル内など、少ない光量でも映像を記録できますが、走行状況によっては、白とびが発生する場合があります。ナイトクリアまたはHDRナイトクリア1～3で調整してください。(P38参照)

DCコードについて

- 本機は専用のDCコード(3極DCプラグ)を使用してください。それ以外のDCコードを使用した場合、本機が正常に動作しません。

アイドリングストップ車での使用について

- 一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

安全運転支援機能(後方)について * 別体カメラ(GD0-28)接続時

- 本機のみで設定できません。TZセーフティレーダーと相互通信して画面上で設定してください。
- 「キャリブレーション」設定にて、設置する車に合わせて調整してください。(P51参照)
- 夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、または頻繁に警告する場合があります。
- 取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に取り付けてください。中央部から外れますと判定誤差が大きくなり、警告しない、または頻繁に警告する場合があります。
- 安全運転支援機能の動作は目安です。実際の道路状況にしたがって走行してください。
- 安全運転支援機能による事故に関し弊社は一切の責任を負いかねます。
- TZセーフティレーダーの「スカウター機能」と連動しません。
- 横切る車、ヘッドライトなどのON/OFFにより警告する場合があります。

専用ビューアソフトについて

- 専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、下記URLよりダウンロードしてください。
(https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php)

カメラレンズの注意事項

- 本機の動作中、カメラのレンズ部分が発熱することがありますが、異常動作ではありません。レンズ部分は、大変熱くなっていますので直接手で触れないようご注意ください。

事故発生時の注意事項

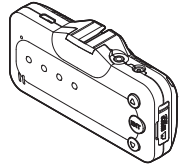
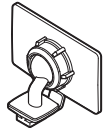

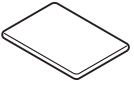

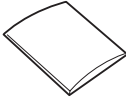





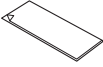
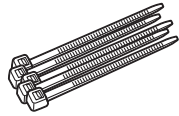

- イベント録画が保存されない場合があるため、事故発生時は本機からmicroSDカードを取り出し、付属のmicroSDカードケースに保管してください。(P29参照)
- パソコンでmicroSDカードを読み込んだ際、SDカードのエラーメッセージが表示する場合がありますがCHKDSK(チェックディスク)プログラムなどで修復処理をおこなわないでください。記録映像が完全に消えてしまう可能性があります。
- microSDカードはwindowsパソコンにインストールした専用ビューアで再生してください。スマートフォンなどでmicroSDカードを読み込むと、不要なファイルが書き込まれ、データが消えてしまうおそれがあります。

本体/付属品

付属品

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

* その他注意書きが同梱している場合がございます。

<input type="checkbox"/> ドライブレコーダー本体 	<input type="checkbox"/> 本体用マウントベース×1 * あらかじめ両面テープ(ガラス用)が貼られています。 	<input type="checkbox"/> ボールジョイント(ダッシュボード用)×1 	<input type="checkbox"/> 両面テープ(ダッシュボード用)×1 色: グレー 
<input type="checkbox"/> 直結線用 DC コード(3極 DC プラグ) 	<input type="checkbox"/> 脱脂クリーナー 	<input type="checkbox"/> microSD カード * SDカード変換アダプタ、SDカードケース付属 * ドライブレコーダー本体に挿入されています。 	<input type="checkbox"/> コードクリップ×5 
<input type="checkbox"/> 取扱説明書(本書) 	<input type="checkbox"/> トラブルシューティングガイド 	<input type="checkbox"/> コードレール 	<input type="checkbox"/> 撮影中ステッカー 
<input type="checkbox"/> 結束バンド×5 	<input type="checkbox"/> エレクトロタップ×2 		

オプション品

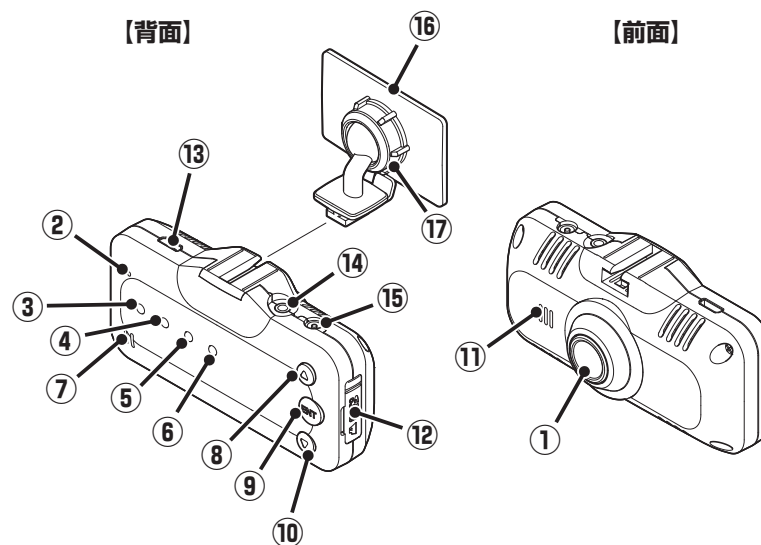
別途お買い求めください。

品名	使用目的/仕様	品番
別体カメラ	別体カメラを接続すると、後方も撮影できます。 * カメラ接続コード、マウントベース、両面テープが付属しています。	GDO-28 コード長：9.0m
ドライブレコーダー専用 microSD カード	microSD カードを新たに購入される場合は、TZ microSD カードもしくはセルスターオプションのドライブレコーダー専用 microSD カードをおすすめします。	8GB: V9TZDRX09 16GB: V9TZDRX10 32GB: V9TZDRX11 64GB: GDO-SD64G1
ビデオ出力コード	録画中の映像を外部モニターに出力する場合に使用します。(P54 参照)	GDO-09 コード長：3.5m
常時電源コード (3 極 DC プラグ)	パーキングモード機能を利用する場合に使用します。最大 12 時間まで電源を供給します。(P34 参照) * コード、両面テープ、コードクリップが付属しています。	GDO-10 コード長：5.0m GDO-24 コード長：9.0m
TZ セーフティレコーダー相互通信コード (12V 専用)	相互通信対応の弊社製 TZ セーフティレコーダーに接続し、これ 1 本で映像出力や GPS 情報入力、電源入力ができます。(P4 参照)	GDO-06 コード長：3.6m GDO-07 コード長：0.4m GDO-16 コード長：0.8m GDO-22 コード長：9.0m



本機に適合したオプション品の型番は、弊社ホームページの接続対応表をご覧ください。
https://www.cellstar.co.jp/products/pdfs/radar_drive/taiou.pdf

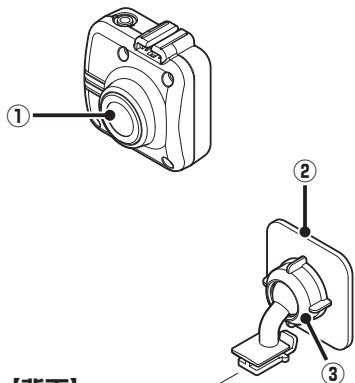
各部の名称と機能



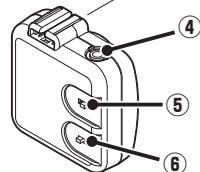
- ① **撮影用カメラレンズ**
*出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。
- ② **リセットボタン**
本機を再起動します。
- ③ **録画LED (2色LED)**
録画 / 再生モードの動作状態を表示します。
- ④ **PモードLED (2色LED)**
- ⑤ **カメラLED (2色LED)**
- ⑥ **レーザー LED (2色LED)**
- ⑦ **マイク**
映像記録中の音声を録音します。
- ⑧ **▲ボタン**
メニューの移動や音量調整に使用します。
*本機反転時、▼ボタンの動作となります。
- ⑨ **ENTボタン**
モードの切り替えやメニューの決定に使用します。
- ⑩ **▼ボタン**
メニューの移動やクイック録画に使用します。
*本機反転時、▲ボタンの動作となります。
- ⑪ **スピーカー**
音声出力します。(モノラル)
- ⑫ **microSDカードスロット**
付属または市販の microSD カードを挿入します。
* microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。
- ⑬ **RADARソケット (相互通信端子)**
弊社製 TZ セーフティレコーダー相互通信コードまたはビデオ出力コード (GDO-09) を接続します。
- ⑭ **カメラ接続端子**
カメラ接続コードで別体カメラを接続します。
- ⑮ **DCソケット**
専用の DC コード (3 極プラグ) を接続し、DC12V/24V を本機に入力します。
- ⑯ **マウントベース**
あらかじめ貼られている両面テープでフロントガラスに取り付けます。
*タッチボードに取り付ける場合、ボールジョイントを付属のボールジョイント (タッチボード用) に交換してから両面テープ (タッチボード用) に貼り替えて取り付けてください。
- ⑰ **角度調整ノブ**
本機の取り付け角度を調整します。

オプションの別体カメラ (GDO-28)

【前面】



【背面】



① 撮影用カメラレンズ

*出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。

② 別体カメラ用マウントベース

別体カメラに付属の両面テープ (小) でリアガラスなどに取り付けます。
*ダッシュボード (リアトレイ) に取り付ける場合、ボールジョイントを別体カメラに付属の別体カメラ用ボールジョイント (ダッシュボード用) に交換してから取り付けてください。

③ 角度調整ノブ

別体カメラの取り付け角度を調整します。

④ カメラ接続端子

カメラ接続コードで本体に接続します。

⑤ 上下切り替えスイッチ

カメラ映像の上下反転時に使用します。

⑥ 正像鏡像切り替えスイッチ

カメラ映像の左右反転時に使用します。

取り付け方法

⚠ 注意

本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。

- 本機の誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。正しく取り付けてください。
- 本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- 本機を取り付ける前には、必ず車のエンジンを止め、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- 本機に専用のDCコード (3極DCプラグ) 以外のコードを使用しないでください。
- 本機を設置した部分のガラスは、いつもきれいに保ってください。
- 夜間走行時にはカーナビゲーションおよび、車両用モニターがフロントガラスに映り込み、記録画像に影響を与えることがあります。映り込み画像が撮影領域に入らないように角度を調整してください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やコードがぬれないようご注意ください。

⚠ 警告

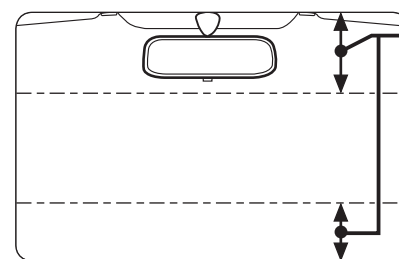
事故発生時の衝撃により本機が外れる場合がございます。ガラス面またはダッシュボード表面のマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れを付属の脱脂クリーナーでしっかり拭き取り、本機を確実に取り付けてください。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

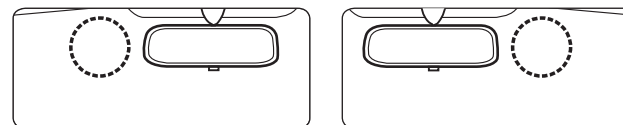
フロントガラスに本機を設置する場合

取り付け位置 (正面)

フロントガラス



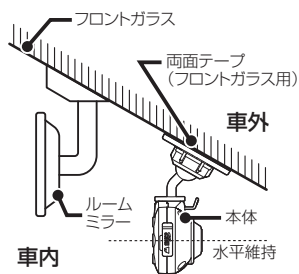
フロントガラス上部からフロントガラス全体の20%以内またはフロントガラス下部から150mm以内に取り付けてください。



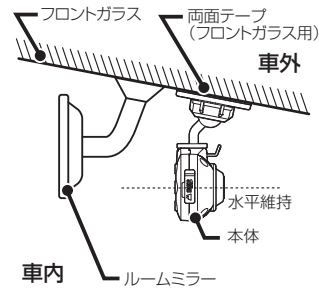
フロントガラスの中央部に設置できない場合は、広い視野角を活用してルームミラーの左、もしくは右側に設置することもできます。中央部に設置できない場合、録画映像が片方にかたよる可能性があります。

フロントガラスへの取り付け位置 (側面)

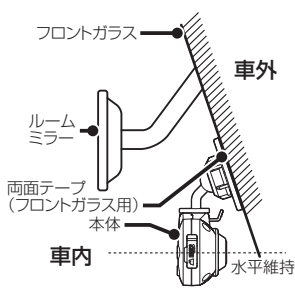
■ 一般的な乗用車



■ フロントガラスが寝ている車



■ ワンボックスやトラックなど

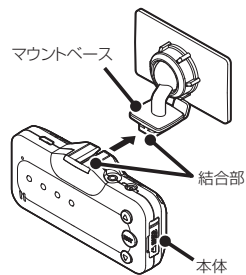


- 図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。
- 本機が取り付けられた状態で、図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。

フロントガラスへの取り付け

* 設置する前に必ずフロントガラスの本体取り付け部分を付属の脱脂クリーナーで油分や汚れをしっかりと拭き取ってください。

- 1 マウントベースと本体の結合部を合わせ、矢印の方向に差し込み。

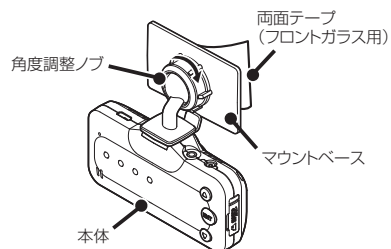


- 2 両面テープ (フロントガラス用) を使用して本機を設置する場所に取り付ける。

* 推奨フロントガラス設置位置を参照して、取り付けてください。

- 3 角度調整ノブを右側に回して本体を固定する。

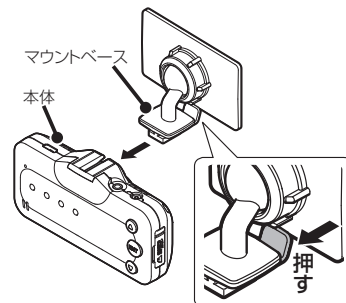
角度調整ノブを緩めると本体の取り付け角度を調整できます。



- * あらかじめ両面テープは貼られています。
- * 必要に応じて、先にマウントベースを車両側に取り付けてから本体を設置してください。

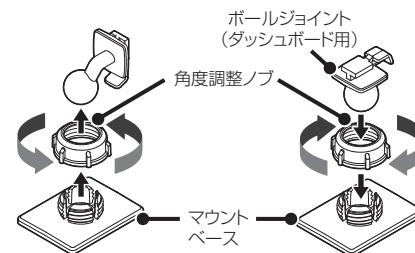
マウントベースから本体を取り外す

マウントベースのツメ部を押し、本体を矢印の方向に引き外します。



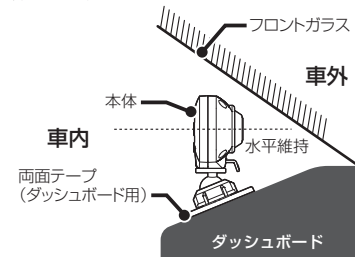
ダッシュボードへの取り付け

マウントベースから角度調整ノブを外し、ボールジョイント (ダッシュボード用) に付け替え、両面テープ (ダッシュボード用) に貼り替えます。



* 先にボールジョイントを角度調整ノブに差し込み、マウントベースに取り付けてください。

図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。

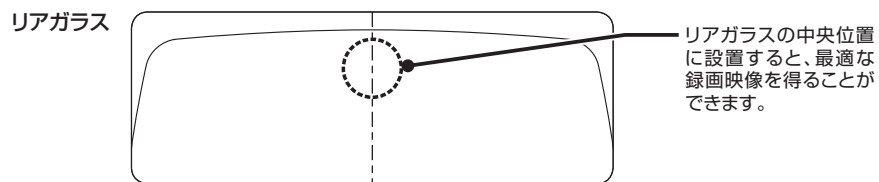


リアガラスにオプションの別体カメラを設置する場合

- * オプションの別体カメラをご用意ください。(P16参照)
- * セダンなどのリアトレイに設置することもできます。(P24参照)

取り付け位置 (正面)

図のように後方を遮ることがないように取り付けてください。

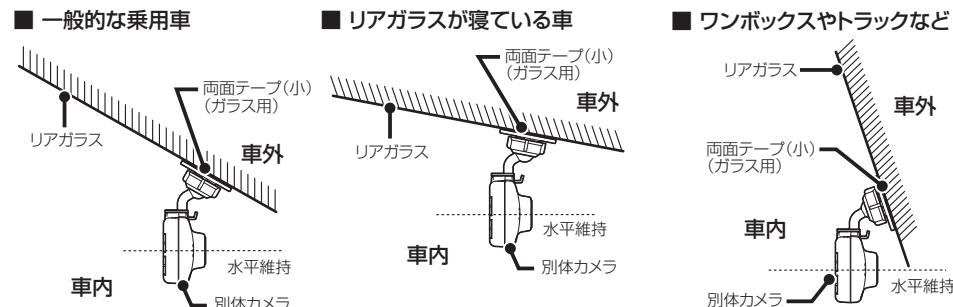


⚠ 注意 リアガラスにオプションの別体カメラを取り付ける前に下記内容を必ず確認してください。

- リアのサンシェードなど取り付けに問題がないことを確認してください。
- 両面テープの貼り付け面がリアガラスの熱線と重ならないように取り付けてください。
- リアガラスにプライバシーガラスやフィルムを貼られてる車両は、夜間や暗い場所では録画した映像が見つらなくなる場合があります。別体カメラ設定で調整してください。(P38参照)
- ラジオアンテナやGPS、地デジアンテナ付近にカメラ接続コードを配線すると、これらの受信感度が下がります。
- リアワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- リアワイパー非装着車およびワイパー拭き取り範囲外に取り付けると、リアガラスの汚れや雨などにより録画記録映像が見つらなくなる場合があります。
- エアバックの動作や運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見つらなくなる場合があります。
- 取り付けにより車両に問題が発生した場合、弊社は一切の責任を負いません。
- 後方の安全運転支援機能 (煽り運転防止) を有効にするには、セーフティレーダーと相互通信をおこない画面上でキャリブレーション設定をおこなってください。(P51参照)

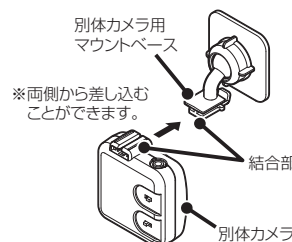
取り付け位置 (側面)

- 図のように後方を遮ることがないように取り付けてください。
- 別体カメラが取り付けられた状態で、図のように別体カメラが水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。
- 取り付け場所によっては、リアガラスの熱線やプライバシーガラスが映像の邪魔となる場合があります。



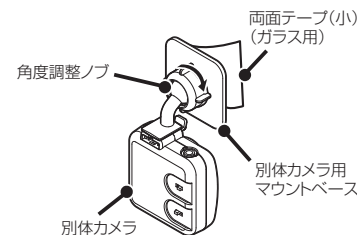
リアガラスへの取り付け

- 1 別体カメラ用マウントベースと別体カメラの結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。
- 2 両面テープ (ガラス用) を使用して別体カメラを設置する場所に取り付ける。



* 推奨の設置位置を参照して、熱線を避けて取り付けてください。

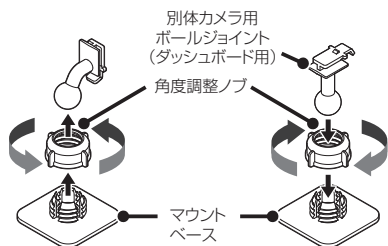
- 3 角度調整ノブを右側に回して別体カメラを固定する。
角度調整ノブを緩めると別体カメラの取り付け角度を調整できます。



- * 必要に応じて、先に別体カメラ用マウントベースを車両側に取り付けてから別体カメラを設置してください。
- * 別体カメラの正像鏡像切り替えスイッチをM (鏡像) に変更してください。(P25参照)

セダンなどのリアトレイにオプションの別体カメラを設置する場合

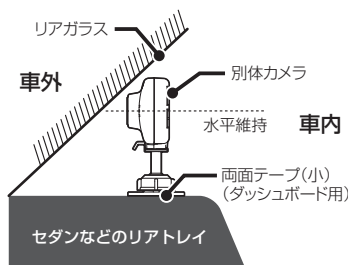
別体カメラ用マウントベースから角度調整ノブを外し、別体カメラ用ボールジョイント(ダッシュボード用)に付け替えます。



* 先に別体カメラ用ボールジョイントを角度調整ノブに差し込み、マウントベースに取り付けてください。

取り付け位置 (側面)

図のように後方を遮ることがないように取り付けてください。



* 別体カメラの上下切り替えスイッチを↓、正像鏡像切り替えスイッチをM(鏡像)に変更してください。(P25参照)

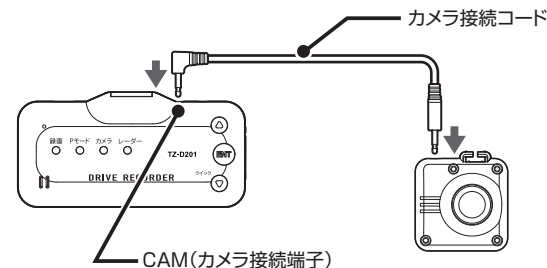
⚠️ 注意 リアトレイに別体カメラを取り付ける前に下記内容を必ず確認してください。

- リアのサンシェードなど取り付けに問題がないことを確認してください。
- リアガラスにプライバシーガラスやフィルムを貼られてる車両は、夜間や暗い場所では録画した映像が見つらなくなる場合があります。
- ラジオアンテナやGPS、地デジアンテナ付近にカメラ接続コードを配線すると、これらの受信感度が下がる場合があります。
- リアワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- リアワイパー非装着車およびワイパー拭き取り範囲外に取り付けると、リアガラスの汚れや雨などにより録画記録映像が見つらなくなる場合があります。
- エアバックの動作や運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見つらなくなる場合があります。
- 取り付けにより車両に問題が発生した場合、弊社は一切の責任を負いません。
- 後方の安全運転支援機能(煽り運転防止)を有効にするには、セーフティレーダーと相互通信をおこない画面上でキャリブレーション設定をおこなってください。(P51参照)

本体とオプションの別体カメラを接続

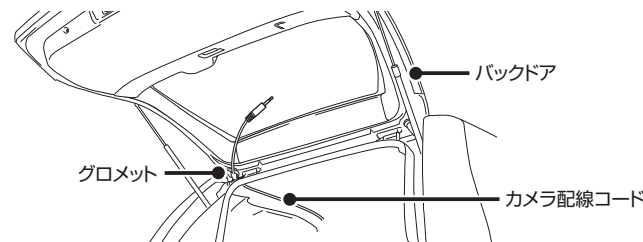
接続方法

別体カメラに付属のカメラ接続コードで本体と別体カメラを接続します。



✓ アドバイス

別体カメラに接続するカメラ接続コードのコネクタはストレート型になっており、バックドアのグロメット内を通して配線しやすくなっています。



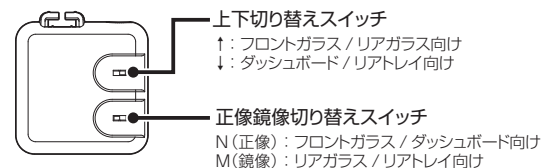
⚠️ 注意

- カメラ接続コードのプラグを奥までしっかりと差し込んでください。

オプションの別体カメラの設定

別体カメラの設置場所に合わせて別体カメラの設定を変更します。

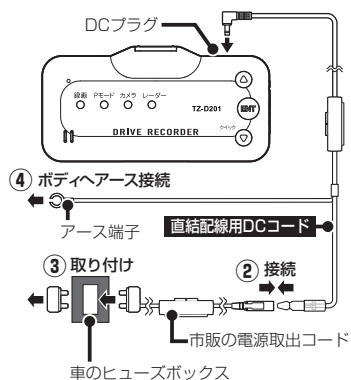
■ 推奨設定



ヒューズボックスから電源を取る場合

市販の電源取出コード (平型ヒューズタイプ) を使用して、ヒューズボックスから電源を取ることができます。

- 1 ACC オン/オフに連動するヒューズボックス内のヒューズ (シガーライター、ラジオなど) を探す
- 2 直結配線用DCコードと電源取出コードを接続する
- 3 ヒューズボックスのヒューズを抜き、電源取出コードをバッテリー側に差し込む
- 4 直結配線用DCコードのアース端子を車のボディに接続する



✓ アドバイス

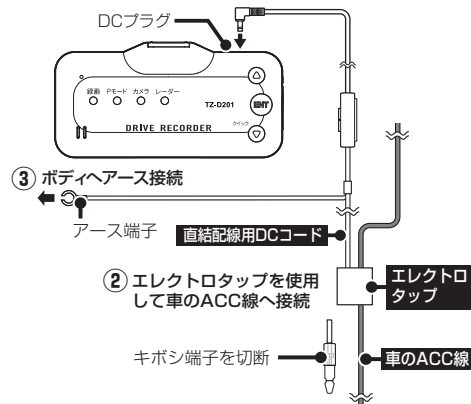
エンジンをかけて本機の電源が入らない場合は、以下の点を点検してください。

- コード類の接続
- 車、またはDCコード内のヒューズ

ACC線から直接電源を取る場合

付属のエレクトロタップを使用して、車のACC線から直接電源を取ることができます。

- 1 テスターなどで、車のキーをACC オンにしたときに12V、オフにしたときに0VになるACC線を探す
- 2 直結配線用DCコードのギボシ端子を切り落とし、付属のエレクトロタップを使用して車のACC線へ接続する
- 3 直結配線用DCコードのアース端子を車のボディに接続する



⚠ 注意

アース端子接続

アース端子はボディの金属部に接続してください。

【取り付けに適している場所】

車の電装のアースポイント (コンピューター、リレーなどのアースコードを直接ボディに接続しているところ)

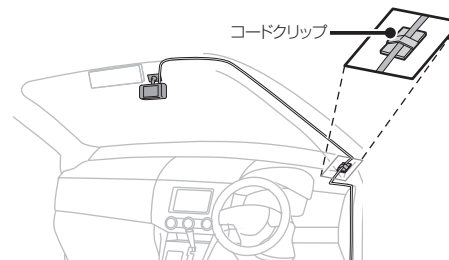
【取り付けに適さない場所】

- アンダーダッシュやセンターコンソールなど樹脂を止めているネジ (タッピングネジなど)
- チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作 (上下) する金属部分

配線処理

コード類は運転の妨げとならないように、付属のコードレールやコードクリップ、結束バンドなどを利用して、配線処理してください。

余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れます。



コードレールの溝にコード埋め込みます。



⚠ 注意

- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- コードを車のダッシュボードなどに固定した場合は、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。

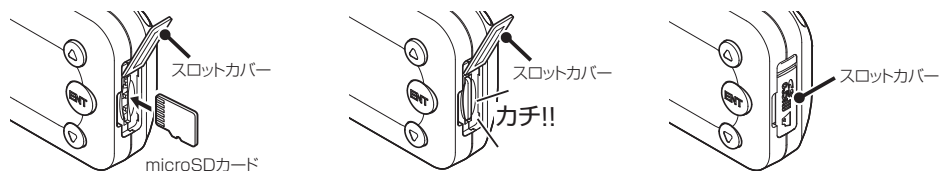
⚠ 注意

microSD カードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

- microSDカードは、指定のmicroSDカードをご使用ください。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの損失や記録できない可能性があります。
- microSDカードを本体電源が入った状態で抜き差ししないでください。本機が正常に動作しない場合があります。
- microSDカードを取り出すときは、車のエンジンを止めて、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してください。その後microSDカードを取り出してください。動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと録画を終了することができず、記録映像が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によってはmicroSDカードが破損するおそれがあります。
- microSDカードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。
- microSDカードをフォーマット、または画像モードを変更すると、記録ファイルは全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- 市販のmicroSDカードによっては認識しにくいものや、挿入、取り出しにくいものがあります。
- 付属のmicroSDカード以外を挿入すると、カードの異常エラーを表示する場合があります。強制フォーマットをおこなってください。(P53参照)
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動(長くなったり)する場合があります。
- パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更(削除、追加、移動)しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

microSDカードの挿入

*** 必ず、本機からDCプラグまたは相互通信コードを外し、本体の電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。**



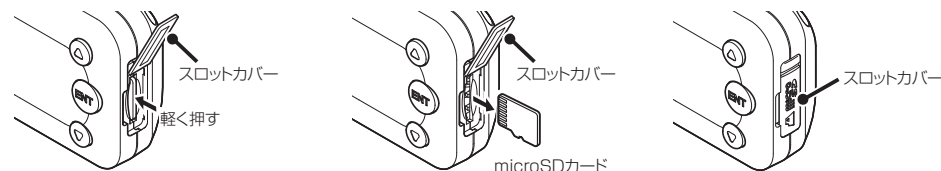
- 1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードの向きに注意してスロットに差し込む。
- 2 microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認する。
- 3 スロットカバーを閉じる。

⚠ 注意

- microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
- microSDカードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードの破損、および誤動作の原因になります。
- microSDカードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。

microSDカードの取り出し

*** 必ず、本機からDCプラグまたは相互通信コードを外し、本体の電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。**



- 1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードを軽く押し込む。
- 2 microSDカードを取り出す。
- 3 microSDカードを取り出したあと、スロットカバーを閉じる。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ
プス

⚠ 注意

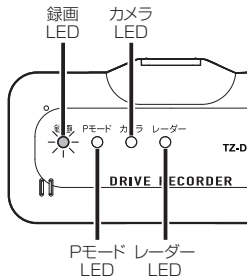
製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 車の運転中は本機の操作を絶対にしないでください。
- 映像の記録は、microSDカードが正しく挿入されているときのみ可能です。
- 映像の記録中にmicroSDカードが取り出されると警告音となり、記録の映像の一部が削除したりmicroSDカードがこわれる場合があります。
- 電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

お買い求めいただき、初めてお使いになる場合

正しい記録ができるように現在の日付および時間を設定してください。(P44参照)

電源のON/OFF



■ 電源のON

本機には電源ボタンがありません。電源を入れるには、DCコードが車両に繋がれている状態で車のエンジンをかけます。

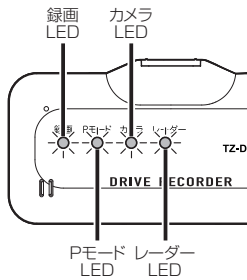
録画LEDが緑色点灯し、数秒後効果音とボイスアシストでお知らせし、常時録画を開始します。

- * 本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。

■ 電源のOFF

エンジンを停止させると最後の録画ファイルを安全に保存し、録画LEDが赤色点灯し、効果音のあと電源が自動的にOFFになり、LEDが消灯します。

エラー表示



microSDカードが挿入されていない、もしくはカメラの初期化エラーなどが発生した場合は、次のようなLEDの状態とボイスアシストでお知らせします。

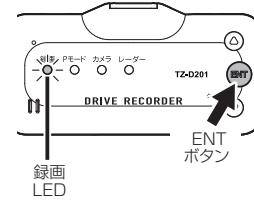
	録画 LED	Pモード LED	カメラ LED	レーダー LED	ボイスアシスト
microSDカード無し	赤色点滅	赤色点滅	赤色点滅	赤色点滅	あり
microSDカード設定エラー	緑色点滅	緑色点滅	緑色点滅	緑色点滅	あり
SDカード書き込み禁止モード検知	赤色点滅	緑色点滅	赤色点滅	緑色点滅	あり
カメラエラー	消灯	消灯	速い赤色点滅	消灯	あり
日時設定の異常	緑色点滅	赤色点滅	緑色点滅	赤色点滅	あり

* 新しいmicroSDカード挿入時やmicroSDカード設定エラー、日時設定の異常を表示した場合は、microSDカードを強制フォーマットする必要があります。「ピンポン」と聞こえるまでENTボタンを長押ししてください。

* カメラエラーを表示した場合は、本書裏表紙記載のお客様相談窓口までお問い合わせください。

モード切り替え

各モードを切り替えるための機能です。



- 1 本機の常時録画中に**ENTボタン**を押す。(1秒以内)
録画LEDが赤色点滅して効果音が鳴り、▲▼ボタンでモードを切り替えます。
* モードの状態をボイスアシストでお知らせします。
- 2 切り替えたいモードで**ENTボタン**を押す。(1秒以内)
▲ボタンを長押しすると、一つ前のメニューに戻ります。
ENTボタンを長押しすると、録画モードに戻ります。
* 1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切り替わります。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

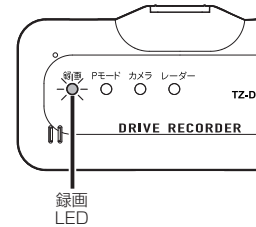
アフターサービス

録画モードについて

本機が動作すると同時に録画LEDが緑色点滅し、常時録画が自動的に開始します。

録画モードの状態は、録画LEDで確認できます。

* 記録中の音声録音しない場合、設定で「音声録音」をオフにしてください。(P40参照)



●録画モードの状態を録画LEDとボイスアシストでお知らせします。

録画モード	録画 LED の状態
常時録画	緑色点滅
イベント録画	速い緑色点滅
クイック録画	速い緑色点滅

常時録画モードとイベント録画モード

■ 常時録画モード

録画 LED が緑色点滅し、1分単位で録画し続けます。



* パーキングモードでは、常時録画画質の設定によって1分～10分まで変動します。

■ イベント録画モード（自動）/クイック録画

常時録画中にイベント（走行中の外部衝撃や事故）が発生した場合、手動でクイック録画を開始した場合、常時録画を中断して、効果音と録画 LED が緑色点滅（速い）し、前後のイベント録画ファイルを生成します。イベント録画モード後、常時録画モードに戻ります。



* 常時録画はイベント発生まで録画します。

* イベントとは、衝撃を検知した場合という意味で使用しています。センサーが高感度に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。センサー感度が低感度に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。「3Gセンサー感度(P40参照)」で調整することができます。

- * 車や運転の状態など様々な要因により、イベント録画にならない場合があります。
- * 記録映像がmicroSDカードの容量を超えた場合、古い記録映像データから順次自動消去されます。
- * 常時録画とイベント録画で生成されたファイルは指定のフォルダに保存されます。
- * 常時録画（microSDカード総容量の73%）、イベント録画（microSDカード総容量の20%）で分割管理されています。
- * 本体カメラと別体カメラの記録映像は、Windowsメディアプレーヤーなど専用ビューアソフト以外でも映像を再生できます。
- * 録画モードでイベント録画（手動による撮影も含む）をおこなっている最中はボタン操作を受け付けません。ボタン操作をおこなう場合は、常時録画中におこなってください。
- * 録画中の状況により、録画のビットレートは可変します。
- * 事故等発生した場合、録画ファイルを上書きしないよう、本機からmicroSDカードを取り出して保管してください。
- * スーパーキャパシタ（蓄電能力を持つコンデンサ）により、事故の衝撃で電源ケーブルが外れてしまっても録画映像を正常に保存します。
- * 別体カメラを接続していない場合でも映像（黒）として記録されます。

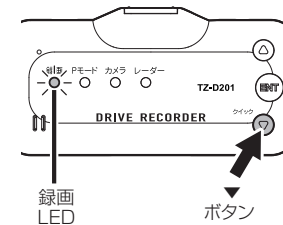
microSDカードの保存先とファイル名について

録画モード	保存フォルダ名	ファイル名	最大保存容量
常時録画モード	INFINITE └1:本体カメラ映像 └2:別体カメラ映像	通常時 : NNF_****.avi	microSD カード総容量の73% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)
		パーキングモード : PNF_****.avi	
		パーキングモード (モーション) : PMF_****.avi	
イベント録画モード	EVENT └1:本体カメラ映像 └2:別体カメラ映像	通常時 : NEF_****.avi	microSD カード総容量の20% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)
		パーキングモード : PEF_****.avi	

* ファイル名の**** には、年月日・時分秒・インデックス_カメラ映像番号（1:本体カメラ映像、2:別体カメラ映像）が入ります。例:201130-101010_1は、2020年11月30日10時10分10秒 本体カメラ映像です

クイック録画機能（手動）

イベントを手動で録画するための機能です。記録映像はmicroSDカードの[EVENT]フォルダに保存されます。



1 本機の動作中に▼ボタンを押す。(1秒以内)

効果音が鳴り、手動にてイベント録画することができます。

●録画モードの状態を録画LEDとボイスアシストでお知らせします。

録画モード	録画 LED の状態
クイック録画	速い緑色点滅

- * 録画映像は、ボタンを押した5秒前と20秒後を含み記録します。
- * この機能は、本機がイベント録画中である場合は使用できません。

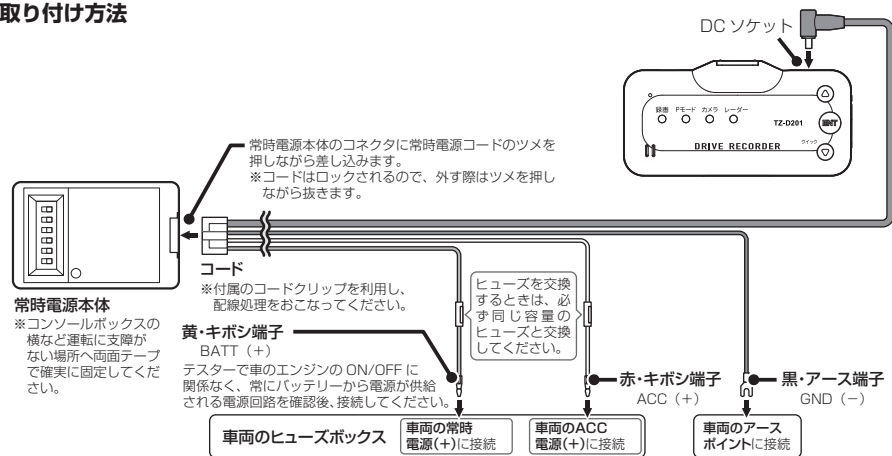
パーキングモードについて

オプションの常時電源コードを使用するとタイマー機能、電圧監視機能により、最大12時間本機に電源を供給します。録画方法は常時録画(常時録画のカメラ画質設定により1分~約10分)、常時録画+イベント録画から選択できます。パーキングモードは、エンジンを停止しACCがOFFになってから約6秒後に作動します。(LEDが遅く点滅します)エンジンを始動し、ACCがONになると、約6秒後にパーキングモードを解除し、常時録画をおこないます。

警告

- パーキングモードは、必ずオプションの常時電源コードを使用してください。直結配線用DCコードなどを接続し、直接電源を供給できる状態ではパーキングモードを設定できません。
- パーキングモードによる車のバッテリー上がりに関して弊社は一切の責任を負いません。
- 暗い場所など録画できない場合があります。
- パーキングモードの設定を「オフ」にしても電源が供給されます。完全に電源の供給をオフにするには、常時電源コードの時間設定を「0時間」にしてください。
- オプションの常時電源コード(GD0-05)は使用できません。
- ハイブリッド(HV)車は、常時電源の電圧監視を12Vに設定することをおすすめします。

取り付け方法



- オプションの常時電源コードに付属の取扱説明書をよく読み、正しく設定の上、ACCがOFFの時に接続してください。
- 本機がオプションの常時電源コードを認識できない場合やパーキングモード中、DCコードを抜いた場合、エンジンをOFFにし、本体LED消灯を確認後、エンジンをかけなおしてください。

パーキングモードの録画仕様について

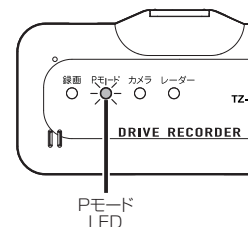
画像	D1
画質	低
明るさ	中
コントラスト	中
GPS	オフ

- パーキングモードのバッテリー電源供給時間は、常時電源コードのディップスイッチの設定で動作します。詳しくは、オプションの常時電源コードに付属の取扱説明書をお読みください。

パーキングモードの動作

エンジンを停止し、ACCがOFFになってから6秒後、パーキングモードが作動し、PモードLEDが遅く点滅します。

- パーキングモードの動作中、▼ボタンを押すと、LEDが遅く点滅し、クイック録画をおこないません。録画後、LEDが遅く点滅します。
- パーキングモードの動作中、V-OUT (ビデオ出力) はオフになります。



パーキングモード設定	Pモード LED
オン 常時録画	遅い赤色点滅
オン 常時録画+イベント録画	遅い2回赤色点滅
オン モーション	遅い緑色点滅
オン モーション+イベント録画	遅い2回緑色点滅
オフ	消灯

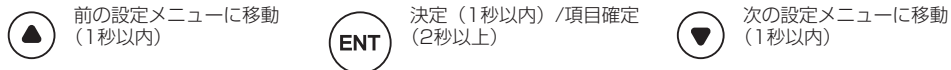
パーキングモードの動作中、イベントが発生、モーション検知した場合

パーキングモードを解除した際に「録画ファイルがあります。」と音声出力します。

- パーキングモード中のイベント録画の感度は、パーキングモード感度にて調整してください。

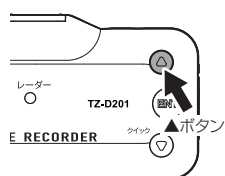
共通：設定モードにする

- 1 ENTボタンを押して（1秒以内）モードを切り替える。
- 2 ▲▼ボタンを押して設定モードに移動し、ENTボタンを押して（1秒以内）確定する。
 - * 設定モード中は録画はできません。
 - * 外部モニターに接続時は、画面に設定メニューを表示し、本体ボタンで操作できます。（P52 参照）
 - * 位置情報取得は TZ セーフティレコーダーとの相互通信時のみ設定可能です。



音量調整（工場出荷時：2）

本機のスピーカーから出力される音量を調整します。



- 1 ▲ボタンを押して設定したい音量を選択する。
 - * ▲ボタンを押す度に（2→1→0→3）の順でループします。

画像モード設定（工場出荷時：高画質）

画像モード（録画画質）の設定をおこないます。
カスタムは専用ビューアまたは相互通信のTZセーフティレコーダーで設定します。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。
あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

- 1 設定モードにする。（P36参照）
- 2 ▲▼ボタンを押して「画像モード設定」を選択し、ENTボタンを押して（1秒以内）確定する。

画像モード	設定内容
高画質	FullHDの画質で録画します。
標準	HDの画質で録画します。
カスタム	個別の設定で録画します。（P49 参照）

- 3 ▲▼ボタンを押して設定したい画像モードを選択する。
- 4 ENTボタンを短押し（1秒以内）して設定を確定する。
ENTボタンを長押し（2秒以上）すると録画モードに戻ります。
▲▼ボタンを長押し（2秒以上）すると設定モードに戻ります。
- 5 フォーマットとアナウンスしたら、ENTボタンを長押し（10秒以上）してフォーマットを実行する。
* 録画データが消去されます。事前にバックアップすることをおすすめします。
- 6 フォーマット完了後、自動的に録画モードに戻る。

カメラ設定 (工場出荷時 : HDRナイトクリア1)

録画映像補正の設定をおこないます。

* ナイトクリアは走行状況によっては、白とびが発生する場合があります。ナイトクリアまたはHDRナイトクリア1～3で調整してください。

- 1 設定モードにする。(P36参照)
- 2 ▲▼ボタンを押して「カメラ設定」を選択し、ENTボタンを押す。(1秒以内)

ノーマル	録画映像に補正をしません。
HDR	HDRによる画像合成技術により、急激な明るさの変化が発生しても白とびや黒つぶれを低減して録画します。
ナイトクリア	夜間、トンネル内など、少ない光量でも録画できます。
HDR ナイトクリア 1	HDRとナイトクリア (弱)をおこないます。
HDR ナイトクリア 2	HDRとナイトクリア (中)をおこないます。
HDR ナイトクリア 3	HDRとナイトクリア (強)をおこないます。

- 3 ▲▼ボタンを押して設定したいカメラ設定を選択する。
- 4 ENTボタンを短押し (1秒以内) して設定を確定する。
ENTボタンを長押し (2秒以上) すると録画モードに戻ります。
▲▼ボタンを長押し (2秒以上) すると設定モードに戻ります。

別体カメラ設定 (工場出荷時 : HDRナイトクリア1)

* 別体カメラ接続時のみ設定できます。

録画映像補正の設定をおこないます。

* ナイトクリアは走行状況によっては、白とびが発生する場合があります。ナイトクリアまたはHDRナイトクリア1～3で調整してください。

- 1 設定モードにする。(P36参照)
- 2 ▲▼ボタンを押して「別体カメラ設定」を選択し、ENTボタンを押す。(1秒以内)

ノーマル	録画映像に補正をしません。
HDR	HDRによる画像合成技術により、急激な明るさの変化が発生しても白とびや黒つぶれを低減して録画します。
ナイトクリア	夜間、トンネル内など、少ない光量でも録画できます。
HDR ナイトクリア 1	HDRとナイトクリア (弱)をおこないます。
HDR ナイトクリア 2	HDRとナイトクリア (中)をおこないます。
HDR ナイトクリア 3	HDRとナイトクリア (強)をおこないます。

- 3 ▲▼ボタンを押して設定したいカメラ設定を選択する。
- 4 ENTボタンを短押し (1秒以内) して設定を確定する。
ENTボタンを長押し (2秒以上) すると録画モードに戻ります。
▲▼ボタンを長押し (2秒以上) すると設定モードに戻ります。

別体カメラ表示 (工場出荷時 : オン) * 別体カメラ接続時のみ設定できます。

別体カメラ表示のオン/オフ設定をおこないます。

- 1 設定モードにする。(P36参照)
- 2 ▲▼ボタンを押して「別体カメラ表示」を選択し、ENTボタンを押す。(1秒以内)
- 3 ▲▼ボタンを押して別体カメラ表示のオン/オン優先/オフ/メインを選択する
- 4 ENTボタンを短押し (1秒以内) して設定を確定する。
ENTボタンを長押し (2秒以上) すると録画モードに戻ります。
▲▼ボタンを長押し (2秒以上) すると設定モードに戻ります。

録画モード (工場出荷時 : 常時+イベント)

録画モードの設定をおこないます。

- 1 設定モードにする。(P36参照)
- 2 ▲▼ボタンを押して「録画モード」を選択し、ENTボタンを押す。(1秒以内)

常時	常時録画 (1分単位) します。
常時+イベント	常時+イベント録画します。

- 3 ▲▼ボタンを押して設定したい録画モードを選択する。
- 4 ENTボタンを短押し (1秒以内) して設定を確定する。
ENTボタンを長押し (2秒以上) すると録画モードに戻ります。
▲▼ボタンを長押し (2秒以上) すると設定モードに戻ります。

3Gセンサー感度 (工場出荷時：標準)

衝撃を感知しイベント録画モードする3Gセンサー感度の設定をおこないます。
カスタムは専用ビューアまたは相互通信のTZセーフティレーダーで設定します。

- 1 設定モードにする。(P36参照)
- 2 ▲▼ボタンを押して「3Gセンサー感度」を選択し、ENTボタンを押す。(1秒以内)

高い	3G センサーが高感度になります。
標準	3G センサーが標準になります。
低い	3G センサーが低感度になります。
カスタム	3G センサーがカスタムで設定します。

* 相互通信時は1～10まで設定できます。

- 3 ▲▼ボタンを押して設定したい3Gセンサー感度を選択する。
- 4 ENTボタンを短押し(1秒以内)して設定を確定する。
ENTボタンを長押し(2秒以上)すると録画モードに戻ります。
▲▼ボタンを長押し(2秒以上)すると設定モードに戻ります。

音声録音 (工場出荷時：オン)

音声録音のオン/オフ設定をおこないます。

- 1 設定モードにする。(P36参照)
- 2 ▲▼ボタンを押して「音声録音」を選択し、ENTボタンを押す。(1秒以内)
- 3 ▲▼ボタンを押して音声録音のオン/オフを選択する
- 4 ENTボタンを短押し(1秒以内)して設定を確定する。
ENTボタンを長押し(2秒以上)すると録画モードに戻ります。
▲▼ボタンを長押し(2秒以上)すると設定モードに戻ります。

インポーズ記録 (工場出荷時：オン)

録画映像の画面に日時情報、相互通信時は現在地の緯度経度、走行速度を記録します。

- 1 設定モードにする。(P36参照)
- 2 ▲▼ボタンを押して「インポーズ記録」を選択し、ENTボタンを押す。(1秒以内)
- 3 ▲▼ボタンを押してインポーズ記録のオン/オフを選択する。
- 4 ENTボタンを短押し(1秒以内)して設定を確定する。
ENTボタンを長押し(2秒以上)すると録画モードに戻ります。
▲▼ボタンを長押し(2秒以上)すると設定モードに戻ります。

ボイス (工場出荷時：オン)

音声案内の設定をおこないます。

- 1 設定モードにする。(P36参照)
- 2 ▲▼ボタンを押して「ボイス」を選択し、ENTボタンを押す。(1秒以内)
- 3 ▲▼ボタンを押してボイスのオン/オフを選択する。
- 4 ENTボタンを短押し(1秒以内)して設定を確定する。
ENTボタンを長押し(2秒以上)すると録画モードに戻ります。
▲▼ボタンを長押し(2秒以上)すると設定モードに戻ります。

LED表示 (工場出荷時 : オン)

LED表示のオン/オフ/オールオフ設定をおこないます。

- 1 設定モードにする。(P36参照)
- 2 ▲▼ボタンを押して「LED表示」を選択し、ENTボタンを押す。(1秒以内)
- 3 ▲▼ボタンを押してLED表示のオン/オフ/オールオフを選択する
- 4 ENTボタンを短押し(1秒以内)して設定を確定する。
ENTボタンを長押し(2秒以上)すると録画モードに戻ります。
▲▼ボタンを長押し(2秒以上)すると設定モードに戻ります。

パーキングモード (工場出荷時 : オン 常時+イベント)

* 常時電源コード接続時のみ設定できます。

パーキングモード中の録画モードの設定をおこないます。

- 1 設定モードにする。(P36参照)
- 2 ▲▼ボタンを押して「パーキングモード」を選択し、ENTボタンを押す。(1秒以内)

オン 常時	常時録画 (1分単位) します。
オン 常時+イベント	常時+イベント録画します。
オン モーション	モーション録画します。
オン モーション+イベント	モーション+イベント録画します。
オフ	パーキングモードをおこないません。

- 3 ▲▼ボタンを押して設定したいパーキングモードを選択する。
- 4 ENTボタンを短押し(1秒以内)して設定を確定する。
ENTボタンを長押し(2秒以上)すると録画モードに戻ります。
▲▼ボタンを長押し(2秒以上)すると設定モードに戻ります。

パーキングモード感度 (工場出荷時 : 標準)

* 常時電源コード接続時のみ設定できます。

パーキングモード中に衝撃を感知しイベント録画モードする3Gセンサー感度の設定をおこないます。

- 1 設定モードにする。(P36参照)
- 2 ▲▼ボタンを押して「パーキングモード感度」を選択し、ENTボタンを押す。(1秒以内)

高い	3Gセンサーが高感度になります。
標準	3Gセンサーが標準になります。
低い	3Gセンサーが低感度になります。

* 相互通信時は1～10まで設定できます。

- 3 ▲▼ボタンを押して設定したい3Gセンサー感度を選択する。
- 4 ENTボタンを短押し(1秒以内)して設定を確定する。
ENTボタンを長押し(2秒以上)すると録画モードに戻ります。
▲▼ボタンを長押し(2秒以上)すると設定モードに戻ります。

日時 (工場出荷時 : 未設定)

microSDカード内の記録ファイルの日時より過去に設定すると、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。
あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

録画データに記録する日時情報の設定をおこないます。

- 1 設定モードにする。(P36参照)
- 2 ▲▼ボタンを押して「日時」を選択し、ENTボタンを押す。(1秒以内)
- 3 年→月→日→時→分の順で設定をおこないます。

▲	プラス1
▼	マイナス1
ENT 長押し (2秒以上)	確定

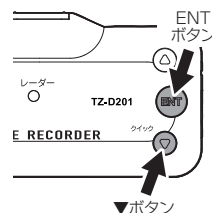
* 相互通信時は、GPSによりインボース、ファイル名 (P33参照) に日時が入力されます。ただし、パーキングモード中の日時情報は、日時設定を参照します。
* 2065年まで設定が可能です。

- 4 ENTボタンを長押し (2秒以上) して設定モードに戻る。
- 5 ENTボタンを長押し (2秒以上) して録画モードに戻る。

撮影モード

静止画で手動撮影するためのモードです。撮影した画像 (JPGファイル) はmicroSDカードの[CAPTURE]フォルダ内の1 (本体カメラ) と2 (別体カメラ) に保存されます。

- * オプションの別体カメラ接続時、前後のカメラで撮影します。
- * 撮影された静止画 (JPGファイル) は、本機や専用ビューアソフトで表示できません。直接パソコンなどでmicroSDカードから参照してください。
- * microSDカード総容量の2%に保存可能です。最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます。



- 1 設定モードにする。(P36参照)
- 2 ▲▼ボタンを押して「撮影モード」を選択し、ENTボタンを押す。(1秒以内)
- 3 ENTボタンを押す。(1秒以内)
RECランプが点滅し、効果音が鳴り、カメラの映像が静止画として保存されます。
- 4 撮影モードを終了する場合、ENTボタンを長押し (2秒以上) してモードを切り替える。

フォーマット

microSDカードを初期化し、設定した録画画質によって microSDカードにセルスター独自のファイルシステムが適応されます。

- * microSDカード内の記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。
- * 本機でフォーマットしても本体の設定値は工場出荷時に戻りません。

- 1 設定モードにする。(P36参照)
- 2 ▲▼ボタンを押して「フォーマット」を選択し、ENTボタンを長押しする。(10秒以上)
全LEDが赤色に点灯→消灯し、フォーマットが完了する。
- 3 フォーマット完了後、自動的に録画モードに戻る。

✓ アドバイス

- ・録画モード中にENTボタンを長押し (10秒以上) するとフォーマット動作になります。

本体カメラ正像/鏡像切り替え (工場出荷時：正像)

本体カメラの正像/鏡像設定をおこないます。

- 1 設定モードにする。(P36参照)
- 2 ▲▼ボタンを押して「本体カメラ正像/鏡像切り替え」を選択し、ENTボタンを押す。(1秒以内)
- 3 ▲▼ボタンを押して本体カメラの正像/鏡像を選択する
- 4 ENTボタンを短押し(1秒以内)して設定を確定する。
ENTボタンを長押し(2秒以上)すると録画モードに戻ります。
▲▼ボタンを長押し(2秒以上)すると設定モードに戻ります。

設定一覧

* 設定値は初期設定のものです。

メインメニュー	設定値	設定項目
音量調整	2	3 : 音量を(大)にします。 2 : 音量を(中)にします。 1 : 音量を(小)にします。 0 : 音量を(無)にします。
画像モード設定	高画質	高画質 : 録画画質を高画質に適した設定にします。 標準 : 録画画質を標準的な設定にします。 カスタム : 録画画質などの設定をお好みで設定できます。(P49参照)
カメラ設定	HDR ナイトクリア 1	ノーマル : HDR、ナイトクリアによる画像補正をおこないません。 HDR : HDRによる画像補正をおこない、急激な明るさの変化が発生しても白トビや黒ソブレを低減します。 ナイトクリアによる画像補正はおこないません。
		ナイトクリア : STARVISにより、夜間・トンネルなど光量の少ない場所でも鮮明な映像を記録できます。HDRによる画像補正はおこないません。
		HDR ナイトクリア 1 : HDRとナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は(小)です。
		HDR ナイトクリア 2 : HDRとナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は(中)です。
別体カメラ設定 *1	HDR ナイトクリア 1	HDR ナイトクリア 3 : HDRとナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は(大)です。
		ノーマル : HDR、ナイトクリアによる画像補正をおこないません。 HDR : HDRによる画像補正をおこない、急激な明るさの変化が発生しても白トビや黒ソブレを低減します。 ナイトクリアによる画像補正はおこないません。
		ナイトクリア : STARVISにより、夜間・トンネルなど光量の少ない場所でも鮮明な映像を記録できます。HDRによる画像補正はおこないません。
		HDR ナイトクリア 1 : HDRとナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は(小)です。
別体カメラ表示 *1	オン	HDR ナイトクリア 2 : HDRとナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は(中)です。
		HDR ナイトクリア 3 : HDRとナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は(大)です。
		オン : 本体カメラをメイン、別体カメラを小窓で表示します。 オン 優先 : 別体カメラをメイン、本体カメラを小窓で表示します。 オフ : 別体カメラを非表示にします。 メイン : 別体カメラをメインで表示します。
録画モード	常時、イベント	常時 : 常時録画(1分単位)します。 常時+イベント : 常時+イベント録画します。
3Gセンサー感度	標準	高い : 3Gセンサーを高感度に設定にします。 標準 : 3Gセンサーを標準に設定にします。 低い : 3Gセンサーを低感度に設定にします。 カスタム(相互通信時のみ1~10で設定ができます)
音声録音	オン	オン オフ

* 1 : オプションの別体カメラ接続時、項目が表示されます。

* はTZセーフティレコーダーと相互通信時、項目が表示されます。

設定一覧 (つづき)

* 設定値は初期設定のものです。

メインメニュー	設定値	設定項目
インポーズ記録	オン	オン : 録画映像の画面に日付情報、現在の緯度経度、走行速度を記録します。
		オフ : 録画映像の画面に日付情報、現在の緯度経度、走行速度を記録しません。
位置情報取得	オン	オン : GPS から位置情報を取得し記録、表示します。 オフ : GPS から位置情報を取得しません。
ボイス	オン	オン : 音声案内をおこないます。
		オフ : 音声案内をおこないません。
LED 表示	オン	オン : 警告時などで LED ランプを表示します。
		オフ : LED ランプを消灯します。
		オールオフ : LED ランプ、ボイスをオフにします。
安全運転支援機能 (別体カメラ) *1	—	(P50 参照)
パーキングモード *2	オン 常時、イベント	オン 常時 オン 常時、イベント オン モーション オン モーション、イベント オフ
パーキングモード感度 *2	標準	高い : パーキングモード中のイベント録画の 3G センサーを高感度に設定します。 標準 : パーキングモード中のイベント録画の 3G センサーを標準に設定します。 低い : パーキングモード中のイベント録画の 3G センサーを低感度に設定します。 カスタム (相互通信時のみ 1 ~ 10 で設定ができます)
日時	—	年 / 月 / 日 / 時 / 分 / 秒 (2065 年まで設定が可能)
撮影モード	—	撮影モードに切り替えます。
フォーマット	—	(P45 参照)
本体カメラ正像 / 鏡像切り替え	正像	正像 鏡像

- * 1 : オプションの別体カメラ接続時、項目が表示されます。
- * 2 : オプションの常時電源コード接続時、項目が表示されます。
- * はTZセーフティレーダーと相互通信時、項目が表示されます。

画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧

* 設定値は初期設定のものです。

カスタム	設定値	設定項目
画像	D1	FHD HD D1
画質	低	高 標準 低
明るさ	中	明 中 暗
コントラスト	中	高 中 低

3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧

* 設定値は初期設定のものです。

カスタム	設定値	設定項目	
前後	6	10 : 3G センサーを高感度に設定します。	
左右		9	↓
		8	
		7	
		6	
		5	
上下	4	: 3G センサーを低感度に設定します。	
	3		
	2		
	1	: 3G センサーをオフに設定します。	
	オフ		

安全運転支援機能（別体カメラ）

- * オプションの別体カメラ接続時、TZセーフティレーダーとの相互通信時のみ設定、機能を使用できます。
- * 別体カメラで後方の安全運転支援機能を動作して煽り運転を防止します。
- * 「キャリブレーション」にて、設置する車に合わせて調整してください。（P51参照）
- * 夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、または頻繁に警告する場合があります。
- * リアガラスにスモークフィルムを貼っている場合、画像認識しにくい場合機能が動作しないことがあります。
- * 取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に付けてください。中央部から外れますと判定誤差が大きくなり、警告しない、または頻繁に警告する場合があります。
- * 安全運転支援機能による事故に関し弊社は一切の責任を負いかねます。
- * TZセーフティレーダーの「スカウター機能」と連動しません。
- * 走行状況により後方からの接近の判断ができない場合があります。特に夜間、トンネル内等の暗い場所では判定率が下がるため誤判断（誤認）する場合があります。

後車接近警告

後車が接近すると、警告音やイベント録画をおこない、ドライバーに注意を促します。

- * 警告音設定でオン+イベント録画を設定すると、後方車が接近（煽り運転）時、イベント録画を開始します。



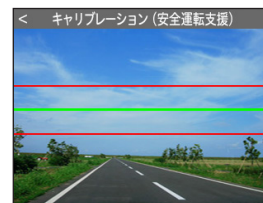
TZ セーフティレーダー上のディスプレイ

安全運転支援機能（別体カメラ）の設定内容一覧

安全運転支援機能（別体カメラ）メニュー	設定値	設定項目
後車接近警告	オフ	40 キロ 50 キロ 60 キロ 70 キロ 80 キロ 90 キロ 100 キロ オフ 後車接近警告が動作する走行速度を設定します。
判定距離	10m	5m 10m
キャリブレーション（安全運転支援）		画面で調整します。（P51 参照）
警告音	オン	オン オフ オン+イベント録画

地平線（別体カメラ）を調整する

- 1 キャリブレーション（安全運転支援）を選択する。
- 2 画面を見て緑線が道路の先端にくるようにTZセーフティレーダー用リモコンの▲▼ボタンで調整する。
（上下の赤線2本は動きません。）



- 3 TZセーフティレーダー用リモコンの戻るボタンを押す。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

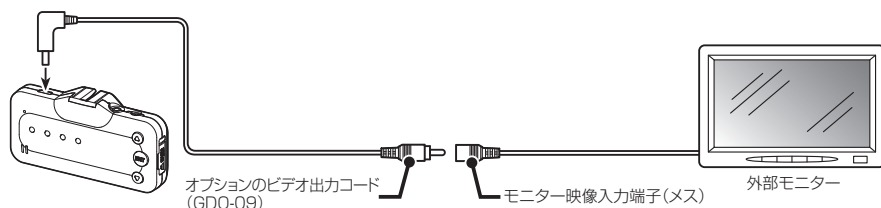
その他

アフターサービス

外部モニター表示

オプションのGDO-09で本体と外部モニターを接続すると、カメラの映像が外部モニターに表示できます。（映像のみ、音声は出力されません）

■ 外部モニターとの接続



- * 必ずオプションのビデオ出力コード（GDO-09）をご使用ください。他のコードを使用すると映像が正しく表示されない、または誤動作を起こす場合があります。
- * モニターの種類によっては端子の形状が異なる場合があります。
- * 電源ON時、一時画像が乱れることがありますが、異常動作ではありません。

外部モニターを接続すると、本機の設定メニューを表示できます。操作は本体のボタンでおこないます。

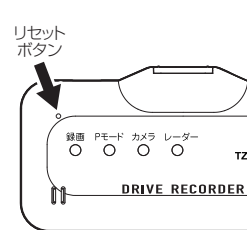


- 上に移動（1秒以内）/ 戻る（2秒以上）
- 決定（1秒以内）/ 2秒以上で録画モードに戻る
* 日時設定のみ確定となる。
- 下に移動（1秒以内）/ 戻る（2秒以上）

システムリセットと強制初期化

本機が誤動作したり、止まってしまった場合、システムリセットまたは強制初期化をおこなってください。

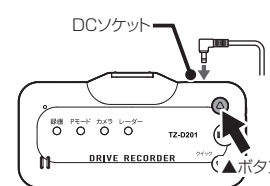
システムリセット



- 1 ピンなどを使用してリセットボタンを押す。
本機がリセットされ、再起動します。

強制初期化

- * microSDカード内の記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- * 強制初期化をおこなうと、設定内容が工場出荷時に戻ります。



- 1 DCコードのプラグを抜き、電源をOFFにする。
* 相互通信時は、レーダーソケットからコードを外してください。
- 2 ▲ボタンを押しながらDCコードのプラグを接続し、フォーマットアナウンスが出力されたら▲ボタンを離す。
microSDカードを強制的にフォーマットし、本機が初期化されます。

ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像の記録データの確認や本機の設定をパソコンでおこなうことができます。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、弊社ホームページの製品ページからダウンロードします。

https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php

専用ビューアソフトの動作環境

- CPU： Pentium 4 以上
- OS： Windows 7 / 8 / 10 以上
- メモリ： 1GB 以上
- HDD： 4GB 以上
- GPU： Direct X 9.0c 以上に対応するGPU

- 1 viewer.zipをダウンロードして、圧縮解凍ソフトでファイルを解凍する。
- 2 viewerフォルダを開く。
- 3 フォルダ内の専用ビューア説明書を参照し、専用ビューアソフトをインストールする。
- 4 setup.exeを起動するとインストールが開始される。

専用ビューアソフトの使い方は、「専用ビューア説明書.pdf」をご覧ください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

症状	考えられる原因	参照
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> • 本機のDCジャックとDCコードは接続されていますか。 • 本機は専用のDCコード（3極DCプラグ）を使用してください。 	P26
起動時間が長い	<ul style="list-style-type: none"> • microSDカードの容量によっては起動時間が長くなる場合があります。 	P12
録画が開始されない	<ul style="list-style-type: none"> • microSDカードは正しく挿入されていますか。 • * microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。 	P28
録画が開始されない	<ul style="list-style-type: none"> • microSDカードの容量によっては起動時間が長くなる場合があります。 • microSDカードは正しく挿入されていますか。 • * microSD カードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は、microSD カードを取り換えてご使用ください。その際は指定のmicroSD カードをご使用ください。 	P12 P28-P29
録画が開始されない	<ul style="list-style-type: none"> • microSDカード内の記録ファイルが破損した可能性があります。 • * microSD カードをフォーマットしてください。 	P45
急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。または直ぐに反応してしまう	<ul style="list-style-type: none"> • 「3Gセンサー感度」を調整してください。 • *使用状況に合わせて、この設定を調整することをおすすめします。 	P40
ひんぱんにイベント録画されるまたは録画されない	<ul style="list-style-type: none"> • 「3Gセンサー感度」を調整してください。 • *使用状況に合わせて、この設定を調整することをおすすめします。 	P40
再起動する	<ul style="list-style-type: none"> • 本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。 	—
録画したデータと実際の走行状況が違う	<ul style="list-style-type: none"> • TZセーフティレターとの相互通信時（OBD II 未接続）は、車両の走行速度、位置情報をGPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。 	—
パーキングモードを設定できない	<ul style="list-style-type: none"> • 本機が常時電源コードを認識していません。エンジンをかけなおしてください。 	—
設定中に、フォーマット動作になった	<ul style="list-style-type: none"> • 画像モード設定の変更をされていませんか。変更した場合、microSD カードメンテナンスフリー機能を使用するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが消去されます。バックアップされていない場合、DCプラグまたは相互通信用コードを抜いて電源がOFFになっていることを確認し、microSDカードを抜きパソコンなどにファイルのコピーでバックアップをおこなうことをおすすめします。 	P29

■TZ-D201の仕様

車外撮影用 カメラ	撮像素子	200万画素 カラー CMOS センサー
	フレームレート	30fps
	視野角	水平 119°、垂直 62°、対角 147°
	F 値	2
	最低被写体照度	3LUX
録画画素数		200万画素 (FullHD) / 100万画素 (HD) / 35万画素 (D1)
録画画質	FullHD	高画質 (10Mbps) / 標準 (8Mbps) / 低画質 (6Mbps)
	HD	高画質 (6Mbps) / 標準 (4.5Mbps) / 低画質 (3Mbps)
	D1	高画質 (3Mbps) / 標準 (2Mbps) / 低画質 (1Mbps)
録画画角	FullHD	水平 117.9°、垂直 62.2°、対角 141.2°
	HD	
	D1	水平 94°、垂直 62.2°、対角 115°
録画圧縮		録画 AVI (H.264)、静止画 JPEG
録画トリガ		常時録画 / 常時録画 + イベント録画 / クイック録画 (常時録画 / モーション録画 / 常時録画 + イベント録画 / モーション録画 + イベント録画 ※パーキングモード時)
GPS		無し
HDR		有り
3G センサー		有り (衝撃感度 10 段階)
対応外部記憶媒体		microSD カード 8GB ~ 32GB (クラス 10/SDHC 規格準拠、NAND タイプは「MLC」を推奨)、64GB (クラス 10/SDXC 規格準拠、UHS スピードクラス: UHS-1 以上、NAND タイプは「MLC」を推奨) * 弊社オプション microSD カード推奨
記録データ		日時、加速度、走行速度*、位置情報*、映像ファイル * TZ セーフティレコーダー接続時のみ
音声録音		有り (オン、オフ設定可)
外部映像出力		有り
インターネット地図連動		有り * TZ セーフティレコーダー接続時のみ
電源電圧		DC12V/24V
動作温度範囲		-10℃ ~ +60℃
サイズ (*突起部含まず)		86 (W) × 23 (D) × 40 (H) mm * マウントベース取り付け時 69 (H) mm
本体重量		64g
保証期間		3年

* 「ドライブレコーダー協議会ガイドライン」に基づく表記。

* 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。

■撮影可能時間の目安

常時録画時間 [min] / microSD カードの容量	録画品質			
	高画質	標準	低画質	
8GB	FullHD	約 24 分	約 30 分	約 36 分
	HD	約 41 分	約 60 分	約 90 分
	D1	約 100 分	約 136 分	約 211 分
16GB	FullHD	約 49 分	約 60 分	約 72 分
	HD	約 83 分	約 120 分	約 181 分
	D1	約 201 分	約 272 分	約 422 分
32GB	FullHD	約 98 分	約 120 分	約 144 分
	HD	約 166 分	約 240 分	約 362 分
	D1	約 402 分	約 544 分	約 844 分
64GB	FullHD	約 196 分	約 240 分	約 288 分
	HD	約 332 分	約 480 分	約 724 分
	D1	約 804 分	約 1088 分	約 1688 分

イベント録画時間 [min] / microSD カードの容量	録画品質			
	高画質	標準	低画質	
8GB	FullHD	約 7 分	約 8 分	約 10 分
	HD	約 11 分	約 16 分	約 24 分
	D1	約 24 分	約 31 分	約 35 分
16GB	FullHD	約 13 分	約 16 分	約 19 分
	HD	約 22 分	約 33 分	約 48 分
	D1	約 48 分	約 63 分	約 79 分
32GB	FullHD	約 27 分	約 33 分	約 39 分
	HD	約 44 分	約 66 分	約 97 分
	D1	約 97 分	約 126 分	約 154 分
64GB	FullHD	約 53 分	約 65 分	約 83 分
	HD	約 88 分	約 132 分	約 193 分
	D1	約 193 分	約 252 分	約 304 分

パーキングモード / microSD カードの容量	最大録画時間
8GB	約 216 分
16GB	約 433 分
32GB	約 867 分
64GB	約 1734 分

* 撮影の状況、被写体などにより記録されるファイルサイズは一定でないため、記録可能時間に差が生じる場合があります。上記は、あくまでも目安となります。

* 別体カメラを接続していない場合でも映像 (黒) として記録されます。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブメニュー

■パーキングモードの録画時間について

- パーキングモード中の常時録画とモーション録画
画像モード設定 (P37参照) によって1ファイルに記録される録画時間が変動します。
モーション録画が発生した場合、常時録画を1ファイル記録します。

画像モード設定	画質	1 ファイルの録画時間
Full HD	高	540 秒
	標準	450 秒
	低	370 秒
HD	高	320 秒
	標準	220 秒
	低	150 秒
D1	高	120 秒
	標準	90 秒
	低	60 秒

- パーキングモード中のイベント録画
イベント録画が発生した場合、画像モード設定共通で1ファイルに25秒 (前5秒、後20秒) 記録されます。

画像モード設定	画質	1 ファイルの録画時間
Full HD	高	25 秒
	標準	
	低	
HD	高	
	標準	
	低	
D1	高	
	標準	
	低	

* モーション録画は、1ファイルの常時録画された動画を保存します。

■データ保存について

- イベント録画フォルダ (EVENT)
イベントが発生した動画または、クイック録画機能で録画した動画を保存します。
(microSDカード全体容量の20%を使用)
1: 本体カメラ映像
2: 別体カメラ映像
- 常時録画フォルダ (INFINITE)
常時録画された1分間の動画* または、パーキングモードのモーション録画で録画された動画を保存します。
(microSDカード全体容量の73%を使用)
1: 本体カメラ映像
2: 別体カメラ映像
* パーキングモード時は、画像モード設定により録画時間が変動します。
- 撮影フォルダ (CAPTURE)
キャプチャーした画像を保存します。(microSDカード全体容量の2%を使用)
1: 本体カメラ映像
2: 別体カメラ映像

修理に関して

■ 修理に必要なもの

- 取扱説明書（保証書欄、修理受付票記入）
- 修理する製品

■ 保証書と修理受付票のご記入に関して

保証期間中

本書裏表紙の保証書と修理受付票（P63参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。保証書の規定にしたがって無料で修理および調整させていただきます。

- * ご注意：保証期間中であっても有償修理となる場合がございますので保証規定をよくお読みください。保証書の所定事項（製品名、お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合は、有償修理となります。保証期間中であっても、部品入手不可能により修理ができなくなる場合があります。

保証期間が過ぎているとき

修理受付票（P63参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。

■ 修理受付票に関して

ダウンロードをご希望のお客様

インターネットブラウザより以下のアドレスにアクセスしてください。

（修理受付票PDF ダウンロード：48KB）

https://www.cellstar.co.jp/products/customer/repair_card.pdf

■ 修理をご依頼される前に

- 故障かな？と思ったら（P55参照）を参考に故障かどうかをご確認ください。
- 弊社ホームページ「お客様サポート」－「よくあるご質問（FAQ）」をご確認ください。
- 弊社ホームページに修理金額の目安が記載されています。事前にご確認ください。

https://www.cellstar.co.jp/customer/repair_price.pdf

- * ご依頼内容の確認のため、記入後必ずコピーを取りお客様控えとしてお手元に保管してください。
- * セルスター工業アフターサービスへ修理品をご送付いただく際、迅速かつ適切な修理をおこなうため、本書裏表紙の保証書と修理受付票（P63参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付してください。
- * 修理品などをお送りいただく際の送料に関しては、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。ご確認ください。

■ 修理の流れ

1 ご不明な点は、セルスター工業カスタマーサービスにご連絡ください。

 0570-006867（ナビダイヤル）

 0120-75-6867（フリーダイヤル）

[受付時間] 9:00～18:00

（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合:0570-006867

- * 修理する製品、保証書をお手元にご用意の上でおかけになるとスムーズにご相談いただけます。

2 修理品の送付先
セルスター工業 アフターサービス
〒518-1145
三重県伊賀市安場 1608-5
TEL. 0120-75-6867

お客様へのお願い

- * 修理・点検作業の際、本機は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。
- * 保証期間の有無に関わらず、送料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 運送中の衝撃などに耐えられるよう、梱包をお願いします。
- * 運送中の破損紛失などについては、弊社では一切の責任を負いません。
- * 有償修理作業完了後、代金引換便にてご返送させていただきます。（処分依頼はお受けいたしませんので、ご返却させていただきます）

個人情報の利用目的について

本機に対するお問い合わせや修理をご依頼される場合の個人情報は次の目的のみ利用されます。

- ① 弊社製品・サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
- ② 製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

修理受付票

製品名：TZ-D201

ご購入される前に必ず取扱説明書（本書）をお読みいただき、修理受付票と、裏表紙の保証書にご記入の上、修理依頼品と一緒に添付してお送りください。

お客様ご記入欄

お客様名：	ご住所：□□□□-□□□□□□
ご自宅電話番号：	
FAX番号：	
日中で連絡可能な電話番号：	<input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> ご勤務先 <input type="checkbox"/> その他（ ）
ご購入日：	microSDカードのデータ等の消失に関する同意確認
同梱した付属品：合計（ ）点	・お預かりした製品に付属のmicroSDカードのデータは、弊社でバックアップをおこないません。修理の内容によってmicroSDカードを初期化することがあります。いかなる場合でもデータの補償はいたしません。ご了承ください。 ※本項のご署名が無い場合、修理をせずにご返却させていただきます。
①	本項の内容について同意します。 ご署名
②	
③	お見積り連絡： <input type="checkbox"/> 不要 / <input type="checkbox"/> 必要（ ）円以上の修理の場合に連絡 ※不要を選択の場合、お見積り金額に開ならず、修理させていただきます。
④	具体的な症状： <input type="checkbox"/> 常に発生する <input type="checkbox"/> 時々発生する <input type="checkbox"/> 特定の条件で発生する
⑤	できるだけ詳しくご記入ください。
⑥	
⑦	
⑧	
修理品返却先	※上記住所以外への返却の場合にご記入ください。
お客様名：	ご住所：
ご自宅電話番号：	